



AMR対策臨床セミナー

「皮膚科疾患と薬剤耐性」

～皮膚科領域の抗菌薬適正使用を考える～

薬剤耐性(AMR)対策は、前アクションプランに引き続き「薬剤耐性(AMR)対策アクションプラン(2023-2027)」が発表され、さまざまな取り組みが進められています。抗菌薬適正使用の推進は、AMR対策の基本であり、全ての医療機関を対象に取り組みが行われてきました。「かぜに抗菌薬は効かない」と啓発活動が進められたことで、かぜをはじめとした急性気道感染症に対して抗菌薬が処方される頻度は低下しつつあり、適正使用の意識は向上してきていると考えられます。

一方で、抗菌薬は気道感染症以外の疾患にも使用されるため、個々の診療科・疾患毎の抗菌薬適正使用を進めることも重要です。そこで今回は、皮膚科領域の抗菌薬適正使用について、特に尋常性痤瘡(ニキビ)に注目し、臨床および研究の最前線でご活躍されている先生方を講師としてお招きします。この分野の専門科の話を聞ける絶好の機会であり、皮膚科医だけでなく、他診療科の医師や薬剤師など、抗菌薬適正使用に興味のあるすべての医療従事者が対象ですので、ぜひご参加ください。

2025年2月26日(水)19:30-20:45

[Zoomにてオンライン配信]

プログラム

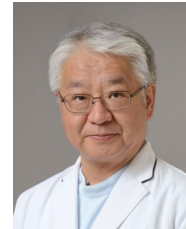
尋常性痤瘡(ニキビ)の病態と治療

～ニキビの治療は抗菌薬だけではない?!～

林 伸和

虎の門病院 皮膚科 部長、分院皮膚科 部長

1989年東京大学卒 2000年東京女子医科大学皮膚科講師
2006年同准教授 2011年虎の門病院皮膚科部長 日本痤瘡研究会理事長
尋常性痤瘡治療ガイドライン改訂委員会前委員長



Nobukazu Hayashi

皮膚細菌の薬剤耐性

～メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)とアクネ菌について～

中南 秀将

東京薬科大学 薬学部 薬学科
臨床微生物学教室 教授/博士(薬学)

2009年東京薬科大学薬学部着任
米国マサチューセッツ総合病院留学を経て2021年から現職
MRSA感染症の診療ガイドラインでMRSAの疫学を執筆



Hidemasa Nakaminami

●参加申し込み

下記URLよりフォームにご記入の上、お申込みください

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_Muc-CMdRTeiSvDCHmR0lyQ

◆オンライン参加:500名(先着順)

◆申し込み締め切り

2025年2月21日(金)



取得可能単位

ICD制度協議会の推薦するその他の講習会、教育企画2点
(更新用 ICD認定者のみ)